



小田原城跡の
発掘調査成果速報！

小田原城跡八幡山 遺構群(第5次調査) (小田原市城山)

小田原城の堀から 埴輪が出土！

小田原城跡八幡山遺構群の発掘調査

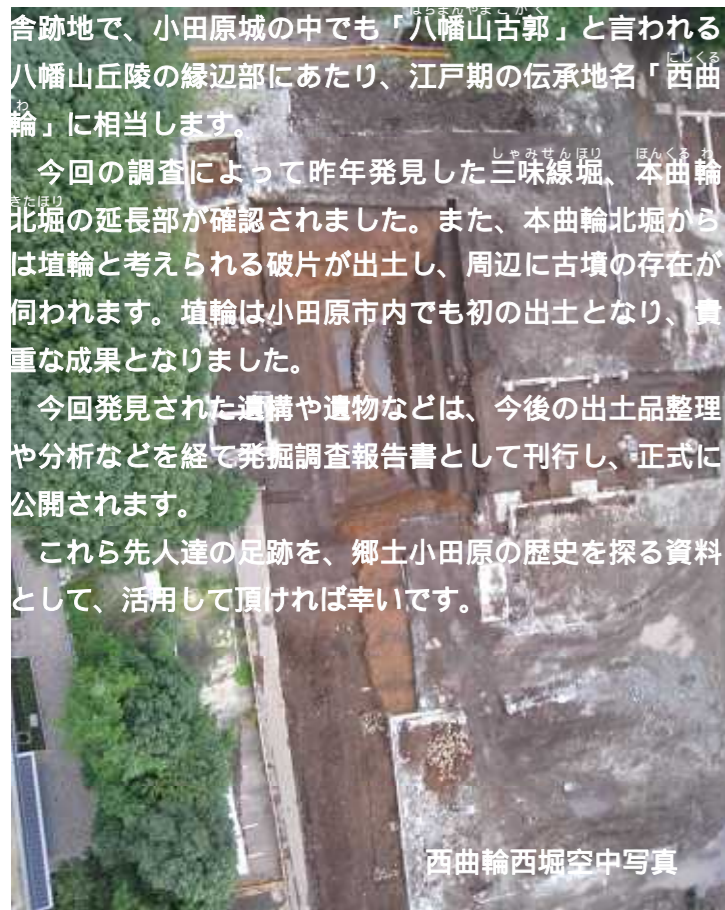
小田原市城山に所在する小田原城跡八幡山遺構群では、神奈川県教育局教育財務課の委託を受け、県立小田原高等学校整備工事に伴う埋蔵文化財の確認調査を実施しています。

調査区は、昨年度に引き続き県立小田原高等学校旧校舎跡地で、小田原城の中でも「八幡山古郭」と言われる八幡山丘陵の縁辺部にあたり、江戸期の伝承地名「西曲輪」に相当します。

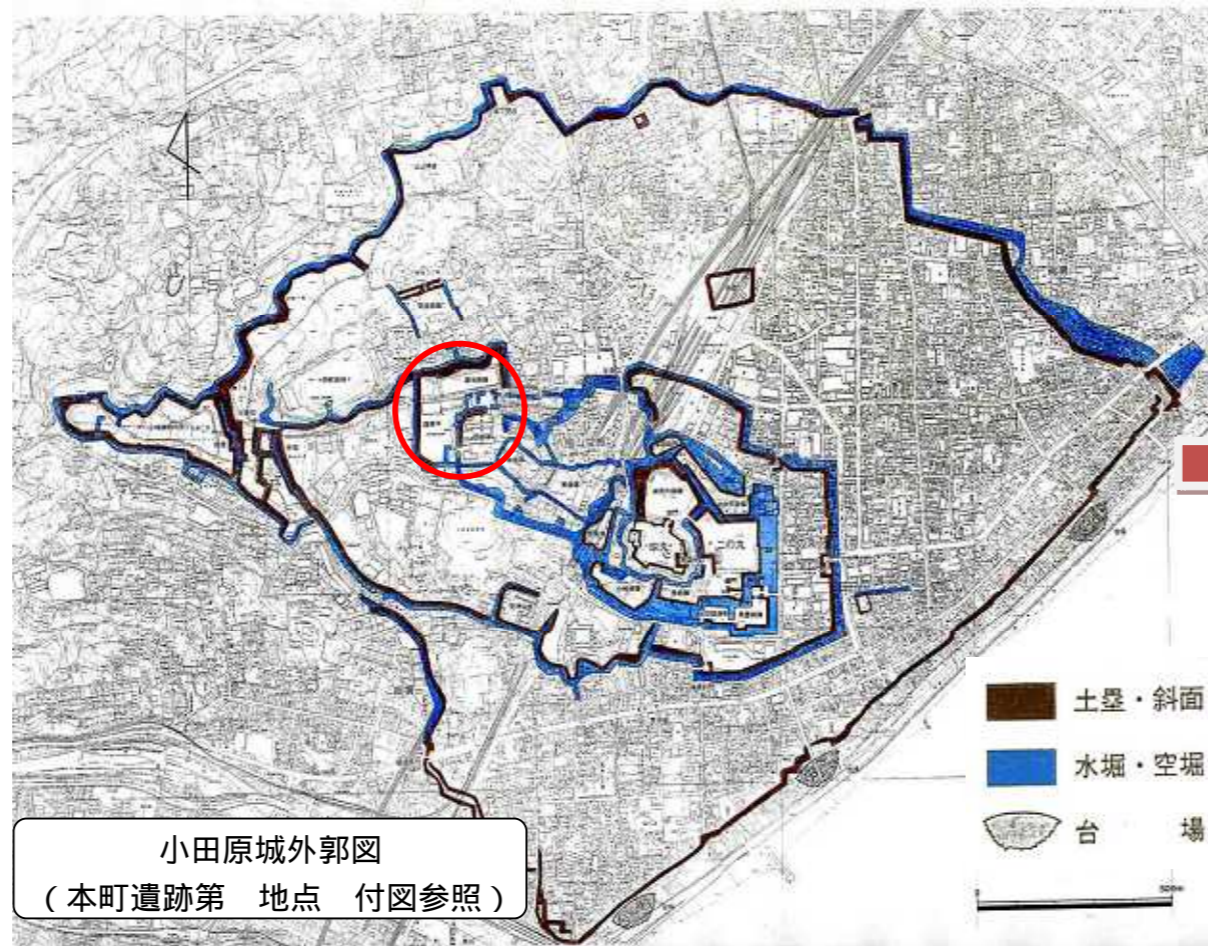
今回の調査によって昨年発見した三味線堀、本曲輪北堀の延長部が確認されました。また、本曲輪北堀からは埴輪と考えられる破片が出土し、周辺に古墳の存在が伺われます。埴輪は小田原市内でも初の出土となり、貴重な成果となりました。

今回発見された遺構や遺物などは、今後の出土品整理や分析などを経て発掘調査報告書として刊行し、正式に公開されます。

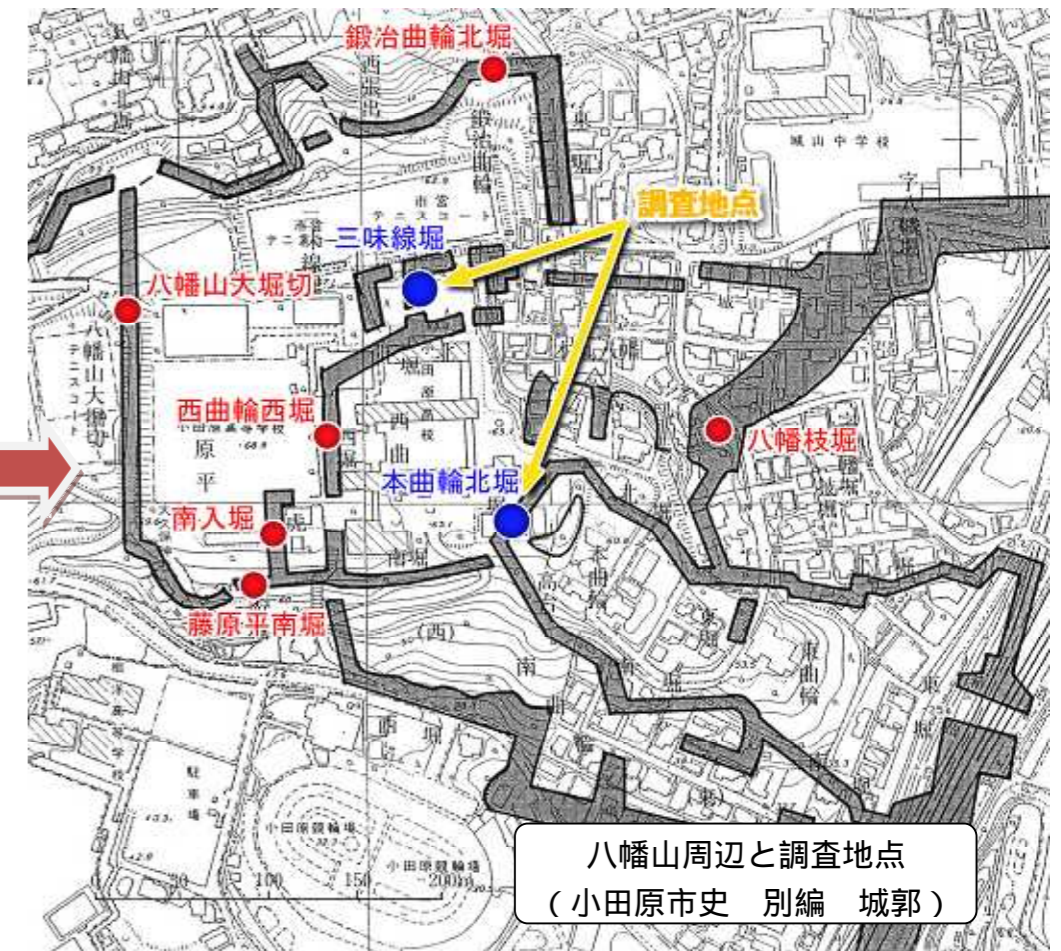
これら先人達の足跡を、郷土小田原の歴史を探る資料として、活用して頂ければ幸いです。



西曲輪西堀空中写真



小田原城外郭図
(本町遺跡第 地点 付図参照)



八幡山周辺と調査地点
(小田原市史 別編 城郭)

今回の調査では、昨年度調査で確認された中世小田原城の本曲輪北堀、三味線堀の延長部が発見されました。本曲輪北堀はこれまでの調査成果から、27m を超える幅を持つ巨大な堀だったことが判明しました。また、堀の覆土からは小田原市内初の埴輪(壺形埴輪)が出土し、当地域に古墳の存在があったことを窺わせます。

調査地点である「西曲輪」周辺には西曲輪西堀、三味線堀、本曲輪北堀など、多くの堀が絵図面に描かれており、調査によって実際に確認されています。今回の調査成果は、八幡山古郭における小田原城の城郭構造について周囲の遺跡とともに分析する必要があります。



本曲輪北堀作業状況



土師器出土状況



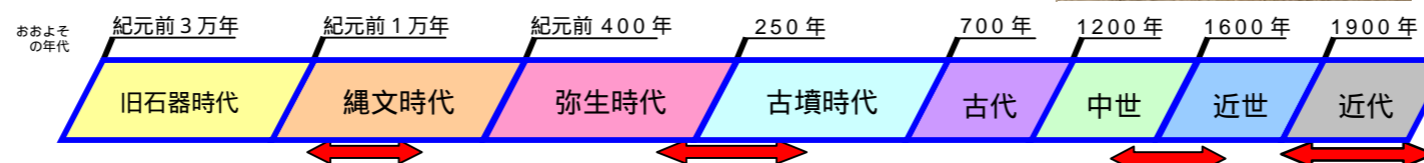
埴輪出土状況



測量・記録作業

遺構等は土層観察帯を設定し、地層の堆積状況を記録します。

遺構の形や遺物出土地点の測量を行いながら調査を進めます。



矢印は、今回の調査で発見された遺構や遺物のおおよその時期を示しています。



小田原城跡の発掘調査成果速報
小田原市 小田原城跡八幡山遺構群
2009.7.25
財団法人 かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1
045-252-8689